
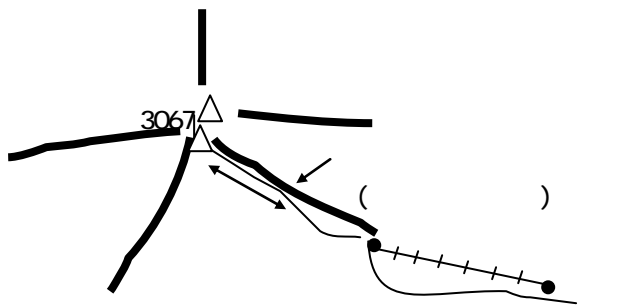




12月度 例会 個人 山行報告書		報告者	大矢康裕	参加 メンバー	CL:大矢
		報告日	1/18		
山域	御嶽山	山行日	05年 12月 28日(水) ~		
山名	御嶽山		05年 12月 29日(木)		

山行目的	冬山トレーニング	コースタイム(天候:天気図記号)
------	----------	------------------

配布先	ルート図(地図を見て正確に)
集会:12	
山行:1	
リーダー	
原紙:集会担当者	

12/28 晴	
14:40 自宅発 18:40 御岳スキー場着	
12/29 快晴	
6:45 起床	
8:30 第5リフト終点発	
9:00 田の原 ワカン着	
11:20 八合目 ワカン アイゼン	
12:45 王滝頂上	
13:45 八合目下 アイゼン ワカン	
14:40 田の原 ワカン脱	
15:20 御岳スキー場着	
19:45 自宅着	

2.5万分の1地図: 御嶽山	
----------------	--

山行報告 寒くて夜中に何度も目を覚ます。予報通り、かなりの冷え込みだ。朝起きると、車の中でペットボトルのお茶と朝食のおにぎりが凍っていた。天気は快晴。しかし、頼りにしていたゴンドラが強風のため運行停止。事前にスキー場の気象情報をインターネットで確認したところ、最低気温が-20 となっていたので低温は予想していたが、強風は予想外である。リフトを2つ乗って(第5リフト終点)から歩き出す。もう一つリフトが動いていたら、ゴンドラ終点まで行けるのだが、このリフトが風に煽られているのを目の当たりにして、無理と納得。田の原に9時に着き、97年の時と変わらない。しかし、ここからが大変。御嶽山では珍しく、ワカンをはいても膝近くのラッセルが待っていた。トレースが全くない。ということは、私が大雪以後始めて入山する登山者ということらしい。覚悟を決めて、一步一步進む。七合目付近の鳥居の辺りが特に積雪が多い。(と言っても膝までだが)1ピッチ半も一人でラッセルをしていると、後ろから単独行の人が追いついてきた。いいかげんバテてきたので、先に行ってもらおう。八合目の少し上で、ワカンからアイゼンにはきかえる。振り返ると、八ヶ岳、中央アルプス、南アルプスの大パノ

ラマが展開する。段々風が強くなってきた。王滝頂上付近からは雪煙が舞っており、そうとうの強風のような。登るにつれ突風が。ラッセルの疲れで、王滝頂上手前の急登ではバテ気味。強風をやり過ごし、少しずつ足を進めると、やっと王滝頂上に着いた。97年の時よりも1時間45分も余分に時間がかかっている。このペースと、12時45分という時間と、稜線北側の烈風(真っ直ぐ歩けないほど)から判断して、ここで引き返すことにした。体力を消耗するも、無事に下山。リーダー所見 当初の目的である冬山トレーニングについてはワカンによるラッセル、アイゼン歩行の鍛錬ができ、十分に成果があったと思う。ラッセルは、後から登ってきた単独行の人に感謝された。

フリースペース
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



確認(リーダー)	大矢
作成(報告者)	大矢